

2018年3月期第1四半期決算の概要 (2017年4月～6月)

2017年8月7日
東レ株式会社

目次

I. 2018年3月期第1四半期決算の概要

2018年3月期第1四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-15)
営業利益増減要因分析	(P16)
主要子会社・地域の収益状況	(P17)

II. 2018年3月期連結業績見通し

2018年3月期連結業績見通し	(P19)
セグメント別連結業績見通し	(P20)
設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移	(P21)

I . 2018年3月期第1四半期決算の概要 (2017年4月～6月)

2018年3月期第1四半期連結損益概要

億円

	17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	増減
売上高	4,781	5,081	+300 (+6.3%)
売上原価	3,685	3,977	+292 (+7.9%)
売上総利益	1,096	1,104	+7 (+0.7%)
(売上高総利益率)	22.9%	21.7%	-1.2 ポイント
販売費及び 一般管理費	686	715	+29 (+4.2%)
(売上高販管費比率)	14.4%	14.1%	-0.3 ポイント
営業利益	410	389	-21 (-5.2%)
(売上高営業利益率)	8.6%	7.6%	-0.9 ポイント
営業外収支	8	9	+1
経常利益	418	397	-21 (-4.9%)
特別損益	▲ 2	▲ 8	-6
税前利益	416	389	-27 (-6.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	297	261	-36 (-12.1%)

為替レート

<円/US\$>

(前期) → (当期)
 期中平均 : 108.1 → 111.1
 期末 : 102.9 → 112.0

<円/ユーロ>

(前期) → (当期)
 期中平均 : 122.0 → 122.2
 期末 : 114.4 → 128.0

営業外収支

億円

	17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	増減
営業外収益	63	67	+3
受取利息及び配当金	20	21	+1
持分法による投資利益	22	29	+7
雑収入	22	17	-5
営業外費用	▲ 55	▲ 58	-2
支払利息	▲ 12	▲ 13	-1
新規設備操業開始費用	▲ 4	▲ 14	-10
休止設備関連費用	▲ 11	▲ 13	-2
雑損失	▲ 29	▲ 18	+11
営業外収支	8	9	+1
金融収支	8	8	-0

(注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	増減
特別利益	8	2	-6
有形固定資産売却益	8	2	-6
その他	-	0	+0
特別損失	▲ 10	▲ 10	+0
有形固定資産処分損	▲ 8	▲ 10	-2
投資有価証券売却損	▲ 2	-	+2
その他	-	▲ 1	-1
ネット特別損益	▲ 2	▲ 8	-6

(注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産

億円

	17年3月末	17年6月末	増減
資産合計	23,968	24,243	+275
流動資産	10,667	10,754	+87
有形固定資産	8,814	8,927	+112
無形固定資産	773	772	-1
投資その他	3,713	3,790	+77
負債合計	12,966	13,029	+63
流動負債	6,700	6,901	+201
固定負債	6,266	6,128	-139
純資産合計	11,002	11,214	+212
自己資本	10,213	10,411	+198
自己資本比率	42.6%	42.9%	+0.3 ポイント
有利子負債残高	7,164	7,434	+270
D/Eレシオ	0.70	0.71	+0.01

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	増減
設備投資*	258	327	+68
東レ	36	33	-3
連結子会社	223	294	+71
減価償却費*	222	230	+8
東レ	69	77	+8
連結子会社	153	153	+0
研究開発費	142	158	+16
東レ	104	122	+18
連結子会社	39	37	-2

* 有形固定資産・無形固定資産(のれんを除く)を含む

主な設備投資:

- Toray Advanced Materials Korea Inc. : 高機能ポリプロピレン長繊維不織布設備
- Toray Battery Separator Film Korea Limited : ポリエチレンフィルム“セティーラ®”設備
- Toray Advanced Textile Mexico, S.A. de C.V. : 自動車エアバッグ用ナイロン繊維・基布設備

セグメント別売上高・営業利益

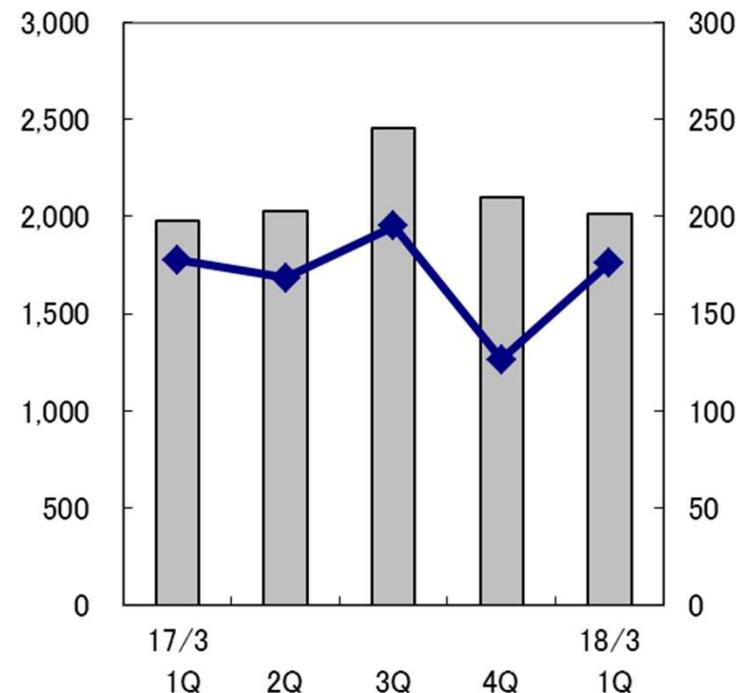
億円

	売上高			営業利益		
	17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	増減	17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	増減
繊維	1,977	2,011	+34 (+1.7%)	178	176	-1 (-0.8%)
機能化成品	1,748	1,912	+164 (+9.4%)	155	166	+11 (+7.3%)
炭素繊維複合材料	438	427	-11 (-2.4%)	98	57	-41 (-41.6%)
環境・エンジニアリング	462	569	+107 (+23.1%)	25	43	+18 (+73.3%)
ライフサイエンス	119	122	+3 (+2.9%)	2	8	+6 (+275.4%)
その他	38	40	+2 (+4.2%)	▲ 0	2	+3 (-)
計	4,781	5,081	+300 (+6.3%)	457	453	-4 (-0.9%)
調整額				▲ 47	▲ 64	-18
連結	4,781	5,081	+300 (+6.3%)	410	389	-21 (-5.2%)

セグメント別業績(繊維)

		億円			
		17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	450	467	+17	(+3.9%)
	国内	929	910	-19	(-2.1%)
	海外	1,250	1,353	+103	(+8.3%)
	修正	▲ 652	▲ 719	-67	
	計	1,977	2,011	+34	(+1.7%)
営業利益	東レ	57	60	+3	(+5.5%)
	国内	16	18	+3	(+16.1%)
	海外	117	119	+2	(+1.8%)
	修正	▲ 12	▲ 21	-9	
	計	178	176	-1	(-0.8%)

売上高
＜棒グラフ＞



営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

国内: 産業用途の一部で需要が回復基調にあるものの衣料用途は引き続き低調に推移する中、各用途での拡販に加え、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化や原価改善に注力。

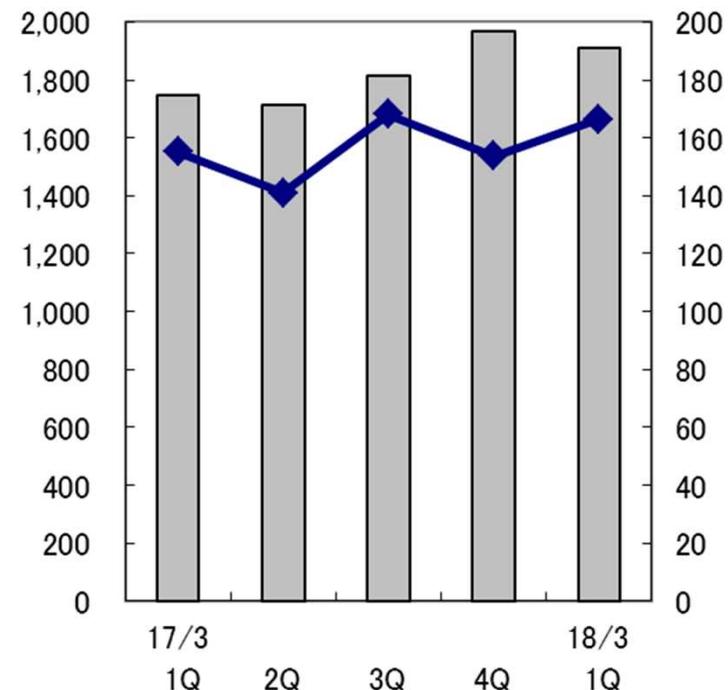
海外: 東南アジアなどの一部子会社の業績が中東向け輸出低迷などの影響を受けたが、自動車関連用途向けや衛生材料向けは総じて堅調に推移。

セグメント別業績(機能化成品)

売上高
億円で棒グラフ

営業利益
億円で線グラフ

		17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	504	588	+84	(+16.8%)
	国内	1,072	1,086	+14	(+1.3%)
	海外	1,061	1,269	+208	(+19.6%)
	修正	▲ 889	▲ 1,031	-142	
	計	1,748	1,912	+164	(+9.4%)
営業利益	東レ	36	57	+21	(+58.2%)
	国内	37	33	-5	(-12.5%)
	海外	88	83	-5	(-5.9%)
	修正	▲ 7	▲ 7	+0	
	計	155	166	+11	(+7.3%)



- 樹脂** : 自動車関連用途向けの出荷が国内を中心に概ね堅調に推移。自動車以外の用途でも、ABS樹脂やPPS樹脂などの拡販を推進。
- フィルム** : リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムが需要の伸長を背景に出荷を拡大するなど、国内外で堅調に推移。
- 電子情報材料** : 有機EL関連材料の出荷が拡大。

機能化成品事業のサブセグメント別売上高

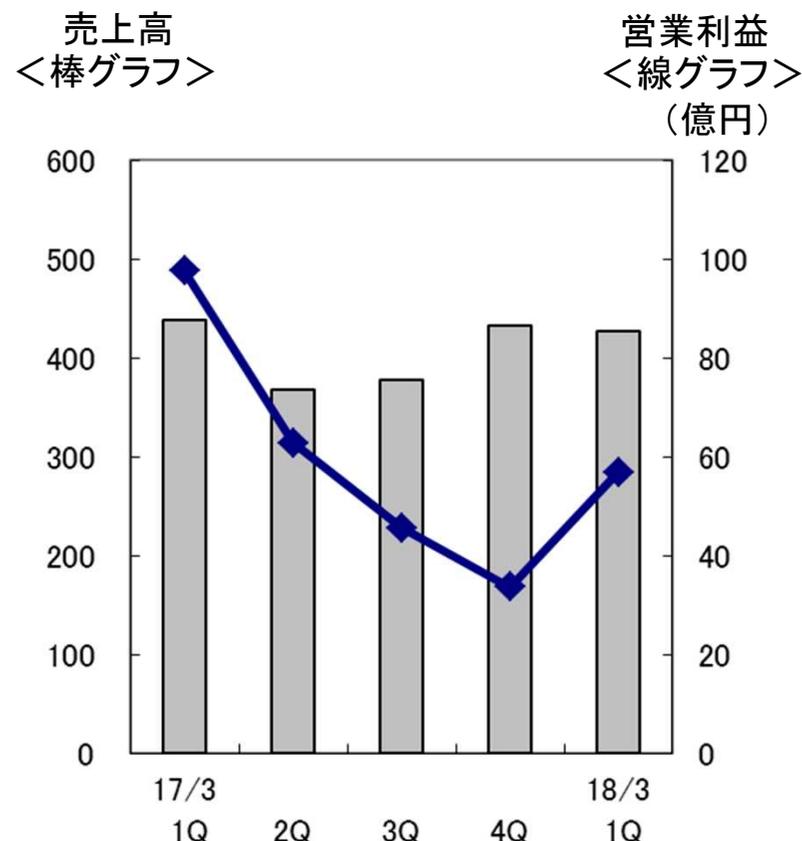
億円

	17年3月期 第1四半期		18年3月期 第1四半期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
樹脂・ケミカル	734	28%	864	29%	+18%
フィルム	715	27%	771	26%	+8%
電子情報材料	148	6%	146	5%	-1%
商事	1,040	39%	1,162	39%	+12%
修正	▲ 889	-	▲ 1,031	-	
合計	1,748		1,912		

- 樹脂・ケミカル : 自動車関連向けの樹脂の出荷が国内を中心に概ね堅調に推移。自動車以外の用途でも、ABS樹脂やPPS樹脂などの拡販を進めた。
- フィルム : リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムが需要の伸長を背景に出荷を拡大するなど、国内外で堅調に推移。
- 電子情報材料 : 有機EL関連材料の出荷が拡大したが、高機能回路材料は需要が減少。
- 商事 : 基礎原料の市況が、前年同期比では回復したこと等を主因に取扱高を伸ばした。

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

		億円			
		17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	273	232	-41	(-14.9%)
	国内	191	170	-21	(-10.8%)
	海外	374	335	-39	(-10.6%)
	修正	▲ 399	▲ 309	+90	
	計	438	427	-11	(-2.4%)
営業利益	東レ	42	23	-19	(-45.9%)
	国内	3	4	+1	(+17.5%)
	海外	53	30	-23	(-42.8%)
	修正	▲ 1	0	+1	
	計	98	57	-41	(-41.6%)



航空機向けでは、サプライチェーンでの在庫調整などを反映して需要が引き続き弱含みで推移。圧縮天然ガスタンク向けでは、在庫調整は一巡したが、出荷は本格的回復に至らなかった。風力発電翼用途は、需要が堅調に推移したものの、出荷時期の変動による影響などがあつた。

炭素繊維複合材料事業のサブセグメント別売上高

億円

	17年3月期 第1四半期		18年3月期 第1四半期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	206	47%	204	48%	-1%
スポーツ	34	8%	38	9%	+9%
一般産業	197	45%	186	44%	-6%
合計	438		427		-2%

- 航空宇宙用途 : 引き続きサプライチェーンでの在庫調整の影響はあるものの、航空機の建造機数は堅調に推移しており、出荷はほぼ前年同期並みに推移。
- スポーツ用途 : 全般的に需要は依然として低調に推移したが、秋モデルの生産シーズン需要を積極的に取り込んだ。
- 一般産業用途 : 圧縮天然ガスタンク向けは本格的回復には至らないものの、回復基調。風力発電翼用途は、需要は堅調に推移したものの、前年同期にあったまとめ出荷の反動の影響があった。

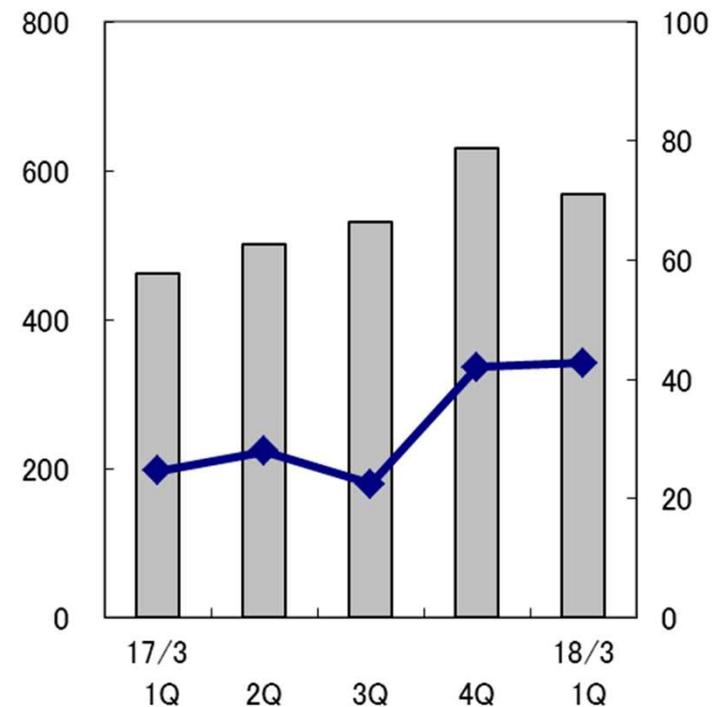
セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

		17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	43	47	+4	(+8.3%)
	国内	533	673	+140	(+26.3%)
	海外	66	74	+8	(+12.0%)
	修正	▲ 181	▲ 226	-45	
	計	462	569	+107	(+23.1%)
営業利益	東レ	▲ 3	▲ 2	+1	(-)
	国内	19	36	+17	(+90.5%)
	海外	9	8	-1	(-8.5%)
	修正	▲ 0	1	+1	
	計	25	43	+18	(+73.3%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



水処理事業 : 国内外で逆浸透膜などの需要が概ね堅調に推移。

国内 : エンジニアリング子会社のプラント工事やリチウムイオン二次電池関連機器が好調。

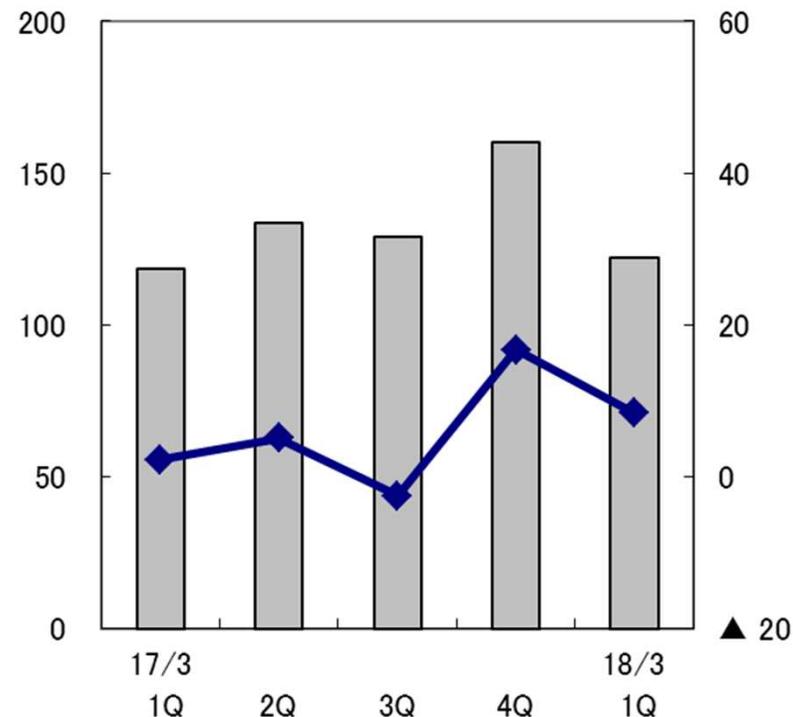
セグメント別業績(ライフサイエンス)

		17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	69	59	-10	(-14.4%)
	国内	96	95	-1	(-0.8%)
	海外	33	30	-3	(-7.8%)
	修正	▲ 79	▲ 63	+17	
	計	119	122	+3	(+2.9%)
営業利益	東レ	▲ 5	▲ 5	-1	(-)
	国内	▲ 3	0	+3	(-)
	海外	1	0	-0	(-54.0%)
	修正	9	13	+4	
	計	2	8	+6	(+275.4%)

億円

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

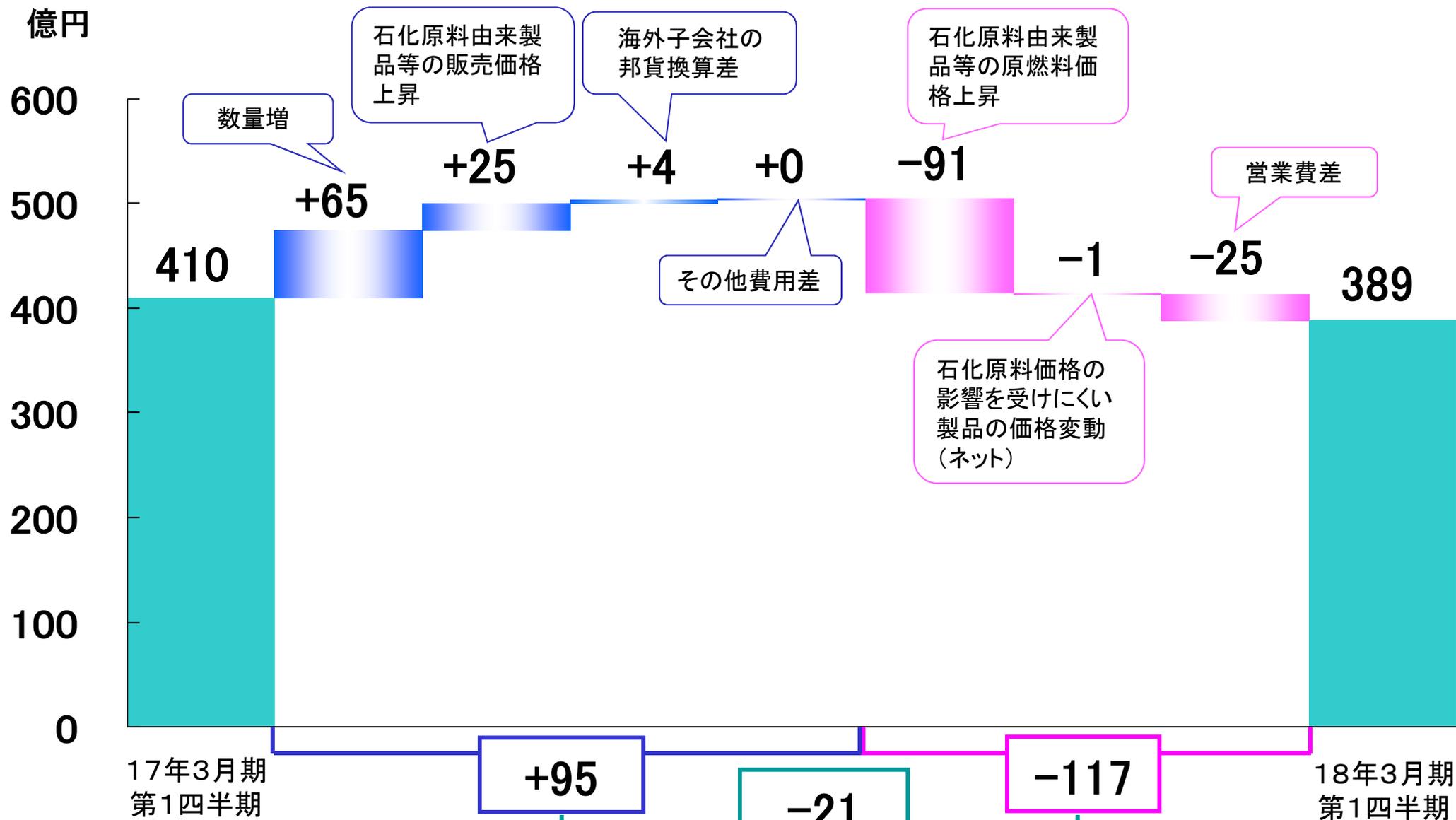


医薬事業 : 経口そう痒症改善剤レミッチ[®]*が、6月からOD(口腔内崩壊)錠の販売を開始した効果もあり、出荷を拡大。一方、天然型インターフェロンベータ製剤フェロン[®]や経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー[®]の出荷は、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けて低調。

医療機器事業 : ダイアライザーの出荷が国内外で堅調に推移。

* レミッチ[®]は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析



石化原料由来製品等とは、繊維、機能化成品、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社・地域の収益状況

億円

		売上高			営業利益		
		17年3月期 1Q実績	18年3月期 1Q実績	増減	17年3月期 1Q実績	18年3月期 1Q実績	増減
東レインターナショナル		1,283	1,309	+27	19	23	+5
東レエンジニアリング		228	299	+72	15	36	+21
東レ建設		84	86	+3	5	▲0	-5
東レフィルム加工		101	101	+0	4	6	+2
在東南アジア・子会社	繊維	292	321	+29	21	22	+0
	機能化成品	202	263	+62	17	23	+6
	その他	—	0	+0	—	0	+0
	計	493	585	+91	39	45	+6
在中国・子会社	繊維	612	652	+40	62	66	+4
	機能化成品	208	237	+28	15	5	-9
	その他	54	67	+14	3	3	-0
	計	874	956	+82	79	74	-5
在韩国・子会社	繊維	212	227	+15	13	9	-4
	機能化成品	249	312	+62	34	37	+3
	その他	45	45	+0	10	6	-4
	計	506	584	+78	57	51	-5

Ⅱ. 2018年3月期連結業績見通し

2018年3月期連結業績見通し

億円

		17年3月期 実績	18年3月期 見通し	対前年同期比 増減	
売上高	上期	9,570	10,500	+930	(+9.7%)
	下期	10,695	11,700	+1,005	(+9.4%)
	通期	20,265	22,200	+1,935	(+9.6%)
営業利益	上期	763	780	+17	(+2.3%)
	下期	706	870	+164	(+23.2%)
	通期	1,469	1,650	+181	(+12.3%)
経常利益	上期	761	770	+9	(+1.2%)
	下期	677	850	+173	(+25.6%)
	通期	1,437	1,620	+183	(+12.7%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	534	470	-64	(-12.0%)
	下期	460	530	+70	(+15.2%)
	通期	994	1,000	+6	(+0.6%)
1株当たり 当期純利益	上期	33.40円	29.39円		
	下期	28.77円	33.14円		
	通期	62.17円	62.52円		
1株当たり 配当金	上期	7.00円	7.00円		
	下期	7.00円	7.00円		
	通期	14.00円	14.00円		

為替レート的前提：105円/US\$ (7月以降)

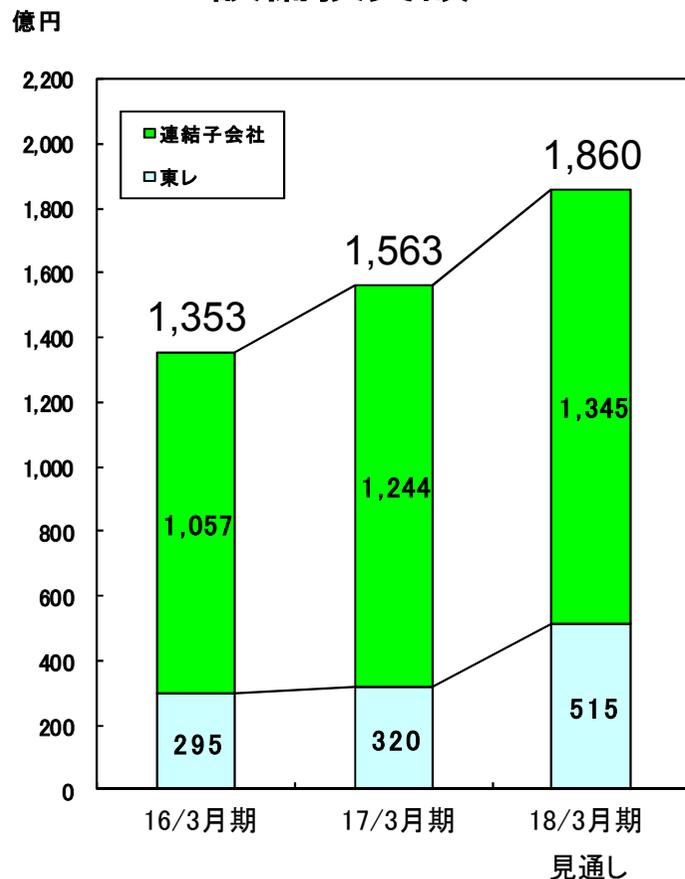
セグメント別連結業績見通し

億円

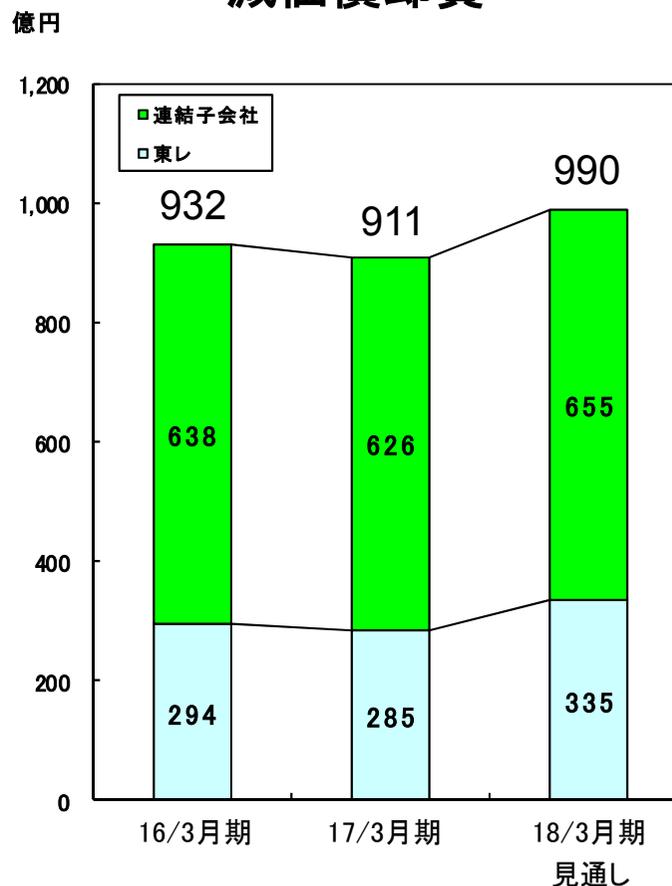
		17年3月期 実績			18年3月期 見通し			対前年同期比 増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	4,002	4,560	8,561	4,250	5,000	9,250	+248	+440	+689
	機能化成品	3,462	3,784	7,246	3,950	4,050	8,000	+488	+266	+754
	炭素繊維複合材料	806	811	1,616	850	950	1,800	+44	+139	+184
	環境・エンジニアリング	964	1,161	2,125	1,100	1,250	2,350	+136	+89	+225
	ライフサイエンス	252	289	542	270	330	600	+18	+41	+59
	その他	84	90	174	80	120	200	-4	+30	+26
	連結	9,570	10,695	20,265	10,500	11,700	22,200	+930	+1,005	+1,935
営業利益	繊維	346	322	668	370	390	760	+24	+68	+92
	機能化成品	296	322	618	360	380	740	+64	+58	+122
	炭素繊維複合材料	160	79	240	110	130	240	-50	+51	+0
	環境・エンジニアリング	53	65	117	45	85	130	-8	+20	+13
	ライフサイエンス	7	14	21	5	25	30	-2	+11	+9
	その他	5	21	26	10	15	25	+5	-6	-1
	調整額	▲ 105	▲ 117	▲ 221	▲ 120	▲ 155	▲ 275	-15	-39	-54
連結	763	706	1,469	780	870	1,650	+17	+164	+181	

設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移

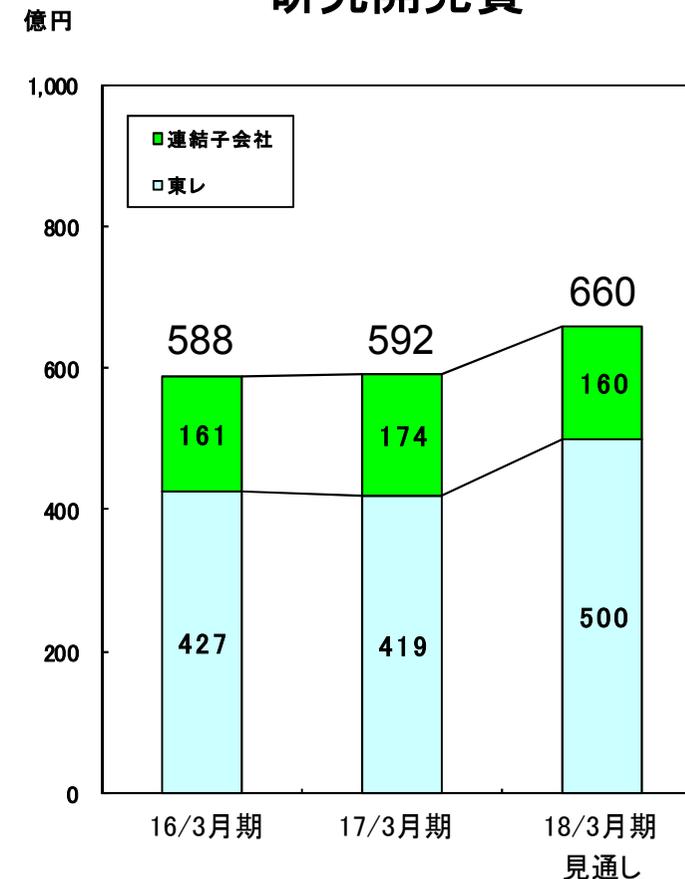
設備投資額*



減価償却費*



研究開発費



*有形固定資産・無形固定資産(のれんを除く)を含む

本資料中の2018年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry